

大船山

令和 2 年 8 月 21 日

ホームページアドレス <http://www.ena-gif.ed.jp/kamiyahagi-e/>

2 学期が始まりました

4 月～5 月の新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休校による授業時間数確保のために、9 日間という大変短い夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校へ戻ってきました。(ニュースによると、東濃地区は“公立小中学校では日本一短い夏休み期間”だそうです。)

8 月 17 日は、静岡県浜松市で日本最高の 41.1℃を観測する、大変厳しい暑さの中での第 2 学期のスタートとなりました。始業式は放送で行い、教室ではエアコンをつけつつ、換気も実施するという状況の中で授業を開始しました。91 日間(昨年度は 84 日間でした)という例年になく長い 2 学期になります。

まだしばらく猛暑の日が続くそうです。『大船山』第 7 号でお知らせしたように、クーラーボックスやうちわの持参などの熱中症予防へ向けての対応をぜひお願いします。

新型コロナウイルス感染症から考えること

校長 曾我 隆

新型コロナウイルス感染症は 20 日現在で全国で新たに 1,184 人の感染者が判明し、累計で 60,667 人(死者 1,173 人)となりました。岐阜県でも 9 人が新たに判明して、今までの合計で 532 人(死者 8 人)が感染しています。特に 8 月だけですでに 200 人を超え、予断を許さない状況となっており、この 2 学期も新型コロナウイルス感染症の対策を第一に考えていかななくてはなりません。

さて、感染者の中には、感染経路不明の人がある程度存在します。おそらく、気づかぬうちに感染をしてしまった人でしょう。ということから考えると、自分がいつ、どこで感染するかはわからないということです。それだけに、手洗いや消毒をきちんと行うことや“三密”(密閉・密集・密接)を避けることは自分が感染しないためにとっても大切で、マスクを着用することは、知らないうちに自分が感染していた時に感染を広げないために有効な方法だといわれています。これらは、学校にいる時だけではなく、学校が休みの日にも気をつけていたいことです。

今までのニュースなどの報道から見ると、クラスターなどの感染者が多く出ている場面は、上記のように今まで徹底するように言われてきた対策のどこか一部分が不十分であったときのように感じます。それだけに、上に示した基本的に徹底しなくてはならないことをきちんと行っていくことが、感染予防のために有効であると考えます。

また、家族間の感染がこのところ増加しているということですが、おそらく家の中ではマスクをしていないと思います。それだけに家の中での感染のリスクは高いといえますので、家族全員がまず“家の外からウイルスを持ち込まない”という予防を確実に実施することが家庭内での感染を防止するための方法であるといえます。

感染者増加のニュースが流れる一方で、新型コロナウイルス感染症についての人権侵害も多く報告されています。「誰が感染したのか」「どこで感染したのか」等のデマが流されたり、それによって傷つく人が現れたりして、感染症自体よりも怖い“人災”といった面が見えてきています。

“自粛警察”といわれる他人を監視し、非難する動きも気になります。これは「自分が我慢して生活をしているのに、感染した人は我慢もしないで…」という考え方が元になっているのではないのでしょうか。こういう時だからこそ、自分が得た限られた情報の中で判断をするのではなく、相手の立場や状況も尊重しながら慎重に判断していくことが必要ではないのでしょうか。

「ひょっとしていると感染しているかも…」と症状が現れても、上記のような“バッシング”がこわく

て医療機関にもかからず、通常と同じ生活をしている人がいないとも限りません。こういう人の存在が、先の感染経路不明の人の発生に影響していることも考えられます。「人間として」この行動はどうか？」という視点で物事の善悪を考えていくことも大切です。

人によって、新型コロナウイルス感染症に対しての考え方は様々です。一国を取り仕切る元首や大統領にしても、国によってかなり違ってきます。職業柄などで、非常にデリケートになっている人もいれば、経済優先の思考で全く気にかけていない人も存在します。それだけに学校や社会という集団で、全員が納得するようにひとつの事柄を決めていくことには難しいものがあります。様々な立場からの意見や流行状況などを総合的に勘案しながら、新型コロナウイルス感染症対策を進めていきたいと考えています。

学校では、熱中症に配慮しながらの**マスクの着用**、こまめな**手洗い**や**アルコールによる手指消毒**の徹底、密閉にならない**換気**の実施、密集にならない**距離の確保**、大きな声で叫ばないこと、**授業内容や活動の配慮**、特に熱中症予防で**マスクを取った時の距離の確保**、給食時の**静かな喫食**に力を入れていきます。

家庭では、毎朝の**検温**と**健康状態のチェック**（「健康チェックカード」の記入）、**基本的な生活習慣**の確立、**睡眠時間の確保**、**バランスの良い栄養の摂取**等に取り組んでいただきますようお願いいたします。

学校生活も新型コロナウイルス感染症対策を実施しながらで、例年に比べて非常に不自由な形になり、2学期以降に予定されている行事についても、その対応を考えながら進めていくこととなりますので、ご理解・ご協力をよろしくようお願いいたします。

新しい学習支援員が着任しました

新型コロナウイルス感染症対策の学習支援員として、週3日間の勤務で、田口 遊野（たぐち ゆうや）先生が8月17日から勤務を始めています。田口先生は、中津川市蛭川の出身の若い男の先生です。授業の支援として主に低学年・中学年を中心に入りますので、よろしくお願ひします。（右の写真では、3年生の算数に支援に入っています。）



2学期の主な行事

新型コロナウイルス感染症の流行状況により、その対策のために内容の変更や規模の縮小・中止もあります。現在の段階での予定をお知らせします。

9月12日（土） 小中合同運動会（午前中のみ短縮して開催）

※ 新型コロナウイルス感染症対策のために、事前に参加されるご家族の方の報告をお願いしたいと考えています。後日報告用紙を配付しますので、ご協力よろしくお願ひします。

10月1日（木） 社会見学（1・2年 犬山モンキーセンター、6年 明治村）

10月2日（金） 社会見学（3年 岐阜城・鶺鴒ミュージアム）

10月7日（水） 社会見学（4年 美濃和紙の里会館・うだつの上がる町並み）

10月9日（金） 社会見学（5年 トヨタ自動車工場）

※ 各学年の社会見学の実施の可否については、保護者の方の意見も参考にしながら、今月中に決定する予定です。（意見調査へのご協力をお願いします。）

10月28日（水） 東濃地区へき地複式教育研究大会（上矢作小学校・上矢作中学校会場）

※ 午後から授業公開があります。東濃地区のへき地校や複式学級設置校の先生方が来校する予定です。

11月14日（土） 生活・総合発表会&お礼の会

※ 体育館の利用制限人数との関係から、発表会のもち方を今後検討します。

11月29日（日） 資源回収・親子防災教室（授業日）

※ 11月30日（月）が振替休業日となります。予備日は12月6日（日）です。

12月7日（月）・8日（火）・9日（水） 個別懇談

12月25日（金） 第2学期終業式